



GPS Lap Timer 6000S

クイックガイド

01 内容物

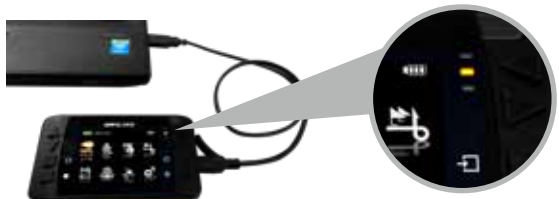
箱の中身を確認し、パーツが揃っていることをご確認ください。



オプションパーツの仕様変更は予告なしに変更されることがございます。

02 6000Sの充電

初めて使用する際は、フル充電してからご利用ください。USBケーブルでパソコンまたは車載充電器に繋ぎ、充電を行ってください。

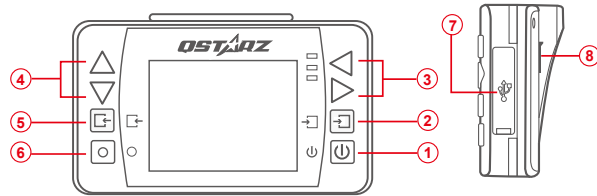


- オレンジLEDランプが点灯: 充電中。
- オレンジLEDランプが消灯: フル充電完了。

※ バッテリー残量がゼロの状態では充電する場合は、約5時間かかります。

フル充電後の連続使用時間は約10時間です。

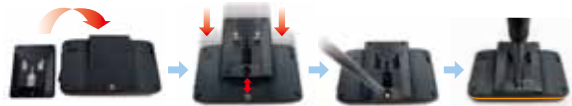
03 機能ボタンの操作



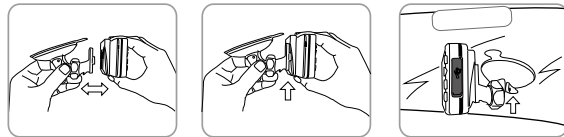
- 電源ボタン: 3秒の長押しで、パワーON/OFF
- 決定ボタン: 選択した項目を決定
- 4 選択ボタン: 選択項目を上/下/左/右に移動
- キャンセルボタン: キャンセルおよび前画面に戻る
- 開始ボタン: 計測およびログの開始など
- 開始ボタン: 計測およびログの開始など
- Mini USBポート: 充電、データ移行、ファームウェアの更新時にUSB充電ケーブルを接続
- MCXポート: GPS外付アンテナを接続

04 ブラケット取り付け方法

ブラケットを6000S裏面のネジ穴位置に合わせ、ドライバーを使い、固定するまでネジを締めて付けてください。



- ステップ 1: 吸盤式車載用ホルダーをブラケットのT字型凹溝に合わせてください。
- ステップ 2: 凹溝にあわせたら、6000Sを固定させて下さい。
- ステップ 3: 運転視界を妨げになる位置除き、吸盤をフロントガラスに合わせ、強く押ししたまま、ラッチを吸盤の方向に押せると着きます。



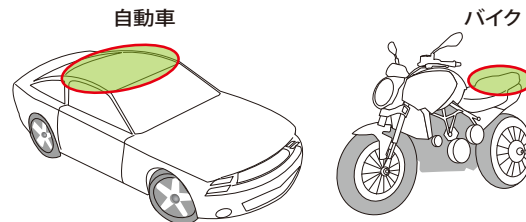
※ 二輪で利用する場合はオプションのバイク用ホルダーで取付ください。

05 GPS外付アンテナ取り付け方法

6000S本体にはアンテナが内蔵されていますが、トンネルなど遮蔽物の下になる場合や地域によってGPS信号を受信しづらくなる場合があります。その場合は外付けアンテナを装着することで受信状況を改善できます。

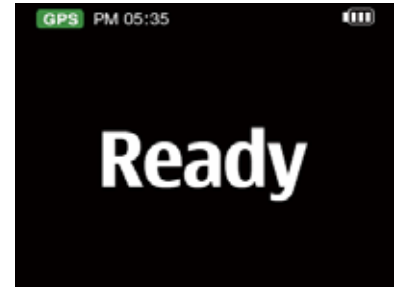
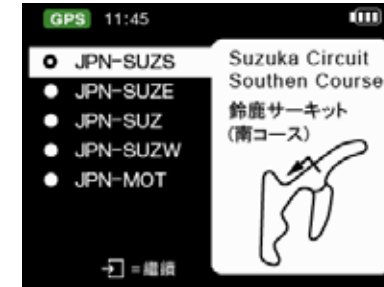
- アンテナケーブルを6000S本体裏面のMCXポートに繋ぎます。
- マグネット式GPS外付アンテナを車体の天井上や金属(平面)の上に吸着させます。

お勧めのアンテナ取り付け位置:

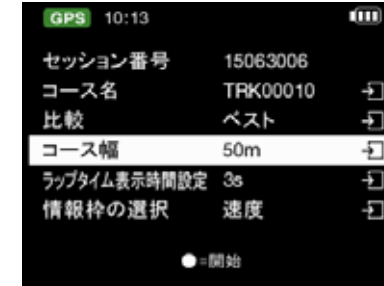


サーキットで利用する場合

- メニューからサーキットレースモードを選び、決定ボタンを押します。
- 利用したいモードを選択します。
- 最寄りのサーキットが自動認識されます。サーキットコースが複数ある場合は利用するコースを選択します。
- サーキットのビーコン幅や、その他の設定をします。
- 開始ボタンを押して3秒のカウントダウン後、Ready表示画面になれば走行開始可能です。



- 利用したいモードを選択します。
- サーキットのビーコン幅や、その他の設定をします。



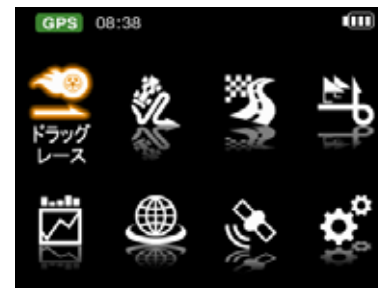
効果的な計測・解析を行うために定期的に本体のファームウェア更新を行ってください。なお、本製品は室外での使用を前提としています。

GPS衛星信号について
GPS(全地球測位システム)は不透明な固体物質を貫通できないため、上からの遮蔽物(ビル、トンネル、高架、森の中、金属成分のカーフィルムなど)及び天候の影響で計測にズレが起こる場合があります。その場合、ユーザーは実際の使用状況と地理的環境からデータの正確性を判断する必要があります。6000Sデバイス内に入っているサーキットのスタート、ゴール、スプリットデータが紛失した場合、QSTARZ公式サイトで最新のサーキットデータをダウンロードできます。



ドラッグレースで利用する場合

- メニューからドラッグレースモードを選び決定ボタンを押します。
- 利用したいモード(速度、距離、時間、カスタマイズ)を選択します。
- 「比較」項目の比較基準(ベストか前ラップ)と、「情報枠」項目で画面に表示される情報を選択し、開始ボタンを押します。

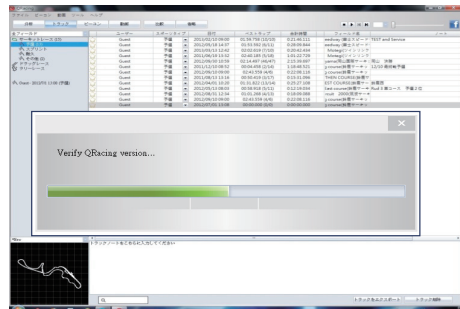




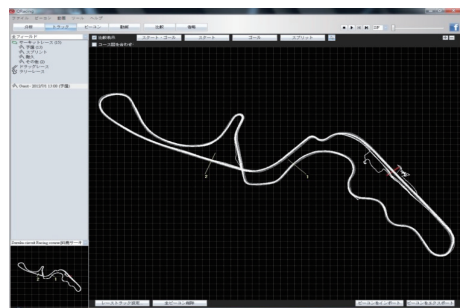
専門ソフトQRacingで走り进行分析しましょう

QRacing QRacingは、レースのタイムを左右する4つのポイント(走行ライン、減速、加速、速度)を分析できるソフトです。

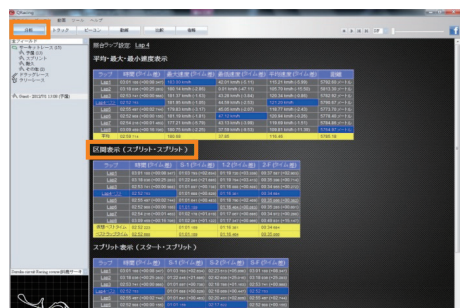
1 Qstarz公式サイトからQRacingをインストールし、ソフトを起動します。USBケーブルを使い電源をオフにした状態の6000Sを接続します。ソフトとファームウェアが最新でない場合は更新のお知らせが表示されます(更新中にUSBケーブルを外さないでください)。画面の指示に従い走行データを取り込んでください。その中から分析したいデータを選択します。



2 <ここからは分析方法の一例を紹介し>画面上部の解析メニューから「ビーコン」ボタンをクリックします。画面にコース図が表示されます。コース内の「SF」はスタート/ゴールラインを表しています(位置微調整可能)。「スプリット」ボタンを選択すると、コース上の区間分けしたい位置にビーコンラインを引くことができます(以下、コースを3分割した場合で説明)。既存データのあるサーキットは自動的に公式ビーコン位置が入ります。



3 「分析」ボタンを選択すると、各ラップの走行データが表示されます。ブルー枠は各項目のベストです。この例では、周回ではLap4がベスト。区間別では、区間S-1はLap6、区間1-2とS-FはLap4がベストタイムとわかります。



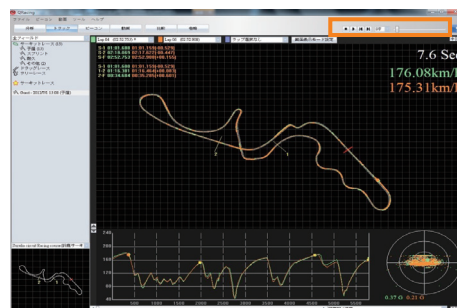
4 表の一番下にある黄色の2行は下記を表しています。「仮想ベストタイム」各区間のベストを合計した理想タイム「ベストラップタイム」計測したラップのなかのベストタイム。ベストラップを仮想ベストに近づけるためには、Lap4とLap6の区間S-1のデータ比較が分析ポイントになります。

ラップ	時間(タイム差)	S-1(タイム差)	1-2(タイム差)	2-F(タイム差)
Lap1	03:01.100 (+00:08.347)	01:03.793 (+02.634)	01:19.720 (+03.339)	00:37.587 (+02.863)
Lap2	03:18.636 (+00:25.283)	01:22.845 (+21.686)	01:19.794 (+03.413)	00:35.398 (+00.714)
Lap3	02:53.741 (+00:00.988)	01:01.897 (+00.738)	01:18.688 (+00.608)	00:34.955 (+00.272)
Lap4-S-F	02:52.793	01:01.888 (+00.598)	01:18.381	00:34.884
Lap5	02:55.497 (+00:02.744)	01:01.841 (+00.493)	01:18.790 (+02.409)	00:35.862 (+00.382)
Lap6	02:52.898 (+00:00.145)	01:01.159	01:18.454 (+00.883)	00:35.285 (+00.601)
Lap7	02:54.216 (+00:01.463)	01:02.178 (+01.919)	01:17.947 (+00.496)	00:34.972 (+00.288)
Lap8	03:09.459 (+00:16.706)	01:02.281 (+01.122)	01:17.547 (+00.996)	00:49.631 (+15.147)
仮想ベストタイム	02:52.223	01:01.159	01:18.381	00:34.884
ベストラップタイム	02:52.688	01:01.159	01:18.454	00:35.006

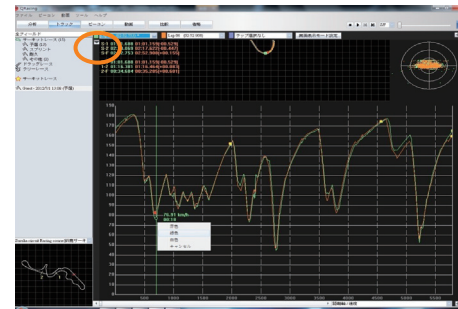
5 「トラック」ボタンを選択すると、コース図上にグリーン線でベストラップの軌跡が表示されます。この画面では、3色のタブでラップ数を選び、最大3つの軌跡を同時に表示することができます。タブでLap4とLap6を選択し、区間S-1を徹底比較しましょう。



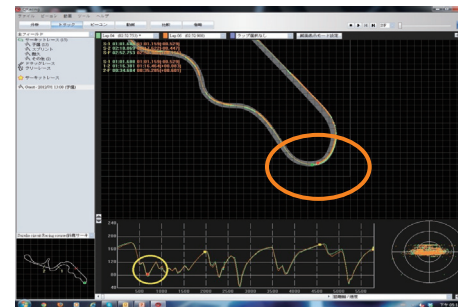
6 画面右上の再生ボタンをクリックすると、二つのラップの軌跡がタイム通りに動きます。ここで、各コーナーの走行ラインと加減速を検証しましょう。マウスを軌跡上に合わせると走行情報が表示されます。また、画面右上の+ボタンで表示の拡大・縮小ができるので、細かなライン取りの違いも確認できます。



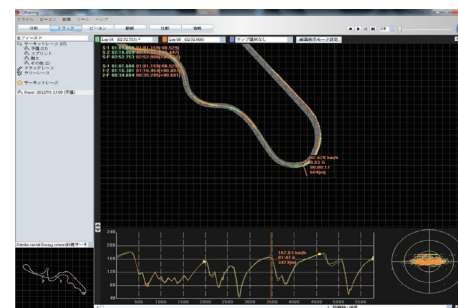
7 次に、画面左側の矢印ボタンで下の折れ線グラフを拡大し、減速点・加速点・速度の比較をします。折れ線上でマウスを左クリックをすると、印をうつことができます。すると、コース図の同じ場所にも印ができるので、例えば最高速地点や減速地点などの違いを数値とコース位置で見比べることができます。



8 折れ線にマウスを合わせるとコース図にもポイント(●)が表示されます。そこでグリーン線(Lap4)とオレンジ線(Lap6)の加速点の違いを比較しましょう。



9 また、コース図の上にマウスを合わせると、その位置の速度、G値、走行時間距離情報が表示されます。



10 オレンジ線とグリーン線の比較で、区間S-1における走行ラインの違いや加減速、速度の差確認し、次の同区間の走行では、Lap6の走り方を参考にしてタイムアップを目指しましょう!

QRacing (PC専用分析ソフト)について

6000S本体のパッケージの中にQRacing™ソフトが付属しています。インストールする際は公式サイトからソフトをダウンロードし、製品保証カードに記載されたプロダクトキーを確認し、入力してください。



安全のための注意事項

- ・熱源に近い場所や、高温になる環境での使用は避けてください。デバイスを60℃以上の環境で使用すると故障や損傷する恐れがあります。
- ・使用しないときは車体から取り外して保管してください。
- ・火災や電気ショック防止のため、雨や湿気のある場所では使用しないでください。
- ・安全のため、本製品を運転操作の妨害になる位置(シフトまたはブレーキに干渉する場所など)に取付けないでください。
- ・お手入れは、乾いた柔らかい布で製品の表面を拭いてください。刺激の強い化学洗剤は使用しないでください。
- ・使用者による不当操作および機器の解体などが原因で損傷した場合は保証の対象外となります。

QSTARZホームページはこちら
6000Sの製品情報が満載です。

